

戸沢議員

(1) 新しく建設される市営住宅について

南小宮地区の土地開発公社の土地を市が借金して購入し、市営住宅建設に取り組んでいる。99世帯の住宅計画に対して次の質問をする。

既存の9か所の市営住宅から何件の入居を考えているのか伺う。

既存の市営住宅から新住宅に移行する上で、どのような課題があると考えているか。想像できるのは、一人暮らしの高齢者が多いと考えられ、当然家賃は激減緩和措置を考えることになる。入居者の収入に対する配慮やペットの問題なども考えられる。どのような入居対応を考えているか伺う。

日の出町では、若い子育て家族の受け入れを重視していると聞いている。市営住宅に住み将来はマイホームを持つことが出来るよう融資制度など含め市が応援する。そのことが、入居の回転率を増やすことになる。その他、居住家庭が将来プランを持てるようにするなど住宅政策が必要だと考える。

市の考えを伺う。

(2) 頭首工^{とうしゅこう}の管理について

秋川、平井川などには稲作の営農を行うため河川に頭首工をつくり、河川水を取り込み稲作が行われてきた。農地を持つ農業者で管理してきたが、今では河川沿いでの水耕栽培はわずかになってしまったため、頭首工の管理がされていない。ゲリラ豪雨などで河川の水位が上がると河川堤防より頭首工の横から流出する水量が増え、田畑だけでなく周辺住宅地まで濁流が押し寄せ危険になる心配がある。自然環境を守りながら頭首工を管理するための対応が必要になっているので市の考えを伺う。

(3) 清潔で美しいまちづくり条例の制定について

まちをきれいにする条例の制定を求めて何度か提案をしてきた。提案する際に、タバコの吸殻、紙くず、飲料空き缶のポイ捨て、犬の糞の放置、公共物にいたずら書きをしたときは元に戻すよう義務づけするなどの課題まで広げたため定義が難しく、提案を取り下げてきた経緯がある。福生市では平成22年度に福生市清潔で美しいまちづくり条例が制定された。あきる野市でも条例制定に向け、議会と行政側で検討していきたいので伺う。